

第2次掛川市総合計画・改定 施策体系の考え方

■掛川市の将来像

**希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川**

■三つの日本一

(1) 教育・文化分野

- ・掛川のまちを誇れる人を育むことが重要です。
- ・掛川市民に広く浸透している報徳や生涯学習の考え方を基礎として、市民総ぐるみで教育に取り組むとともに、掛川文化の振興により、市民の夢と希望を醸成し、心豊かな人づくりにつながる施策を展開します。

(2) 健康・子育て分野

- ・掛川のまちで充実した暮らしを送れることが重要です。
- ・掛川市民が健康を維持し生きがいを持って生活できることを基本として、地域医療連携体制を充実し、健康長寿の市民が多いまちづくりを推進するとともに、子どもを生ま育てることが可能な環境を整え、子育てにやさしいまちづくりを推進し、健やかな暮らしづくりにつながる施策を展開します。

(3) 環境分野

- ・掛川が住み心地の良いまちであることが重要です。
- ・掛川市民が安全と安心を実感できることを基本とし、潤いある自然環境や穏やかな生活環境、充実した都市基盤環境を整備し、住み続けたいまちづくりにつながる施策を展開します。

■基本理念 協働のまちづくり

- 市民誰もが等しく参加できるまちづくり
- 地域の歴史や文化を尊重し、生涯学習都市宣言の理念に基づくまちづくり

「キーワード」

- ① 情報共有 まちづくりに関する情報を市民共有の財産と捉え、市民や市議会、行政は意識的かつ積極的に情報を提供するとともに把握し、お互いに情報共有を図りながらまちづくりを進めます。
- ② 参画 まちづくりの主体である市民が市政に主体的に関わり、市民参画によりまちづくりを進めます。
- ③ 協働 自助・共助・公助の考え方を根底としつつ、多様化する市民ニーズや公共的課題を解決するため、市民や市議会、行政がお互いに尊重し合い、同じ目的のために対等な立場で連携や協力をする「協働」によりまちづくりを進めます。

20年後に向けて

4 3 2 1

4 新たな時代に対応した持続的な発展 (Society5.0 SDGs)

3 人生100年代に向かって

2 掛川流「協働力」の発揮

1 少子高齢・人口減少社会への対応

■施策の方向性

○教育・文化関連について

【キーワード】

- ・歴史文化の保全と活用 ・文化芸術活動 ・小中一貫教育 ・小中校生の学力向上
- ・学びの拠点 ・図書館の利便性の向上・スポーツの振興 等

○健康・子育て・福祉関連について

【キーワード】

- ・障がい者の自立 ・子育て支援 ・結婚、出産環境の向上 ・健康づくり
- ・医療環境の向上 ・高齢者福祉 ・福祉活動 ・人権尊重 等

○環境関連について

【キーワード】

- ・自然環境の保全と活用 ・水の安定供給 ・生活環境の向上 ・省エネ・省資源
- ・再生可能エネルギーの普及 ・脱炭素社会 ・地球温暖化 等

○産業経済関連について

【キーワード】

- ・観光振興 ・着地型観光 ・中山間地域の生活環境の向上 ・中山間地域の活性化
- ・雇用環境の向上 ・就業環境の向上 ・商工業の活性化 ・6次産業化
- ・農業ビジネスの確立 等

○安全・安心・市民生活関連について

【キーワード】

- ・防災、減災対策 ・建築物の耐震化 ・インフラの耐震化
- ・消防救急活動の迅速化、高度化 ・交通安全 ・防犯 等

○都市基盤関連について

【キーワード】

- ・コンパクトシティ ・中心市街地の活性化 ・都市のスポンジ化 ・移動
- ・公共交通 ・宅地供給 ・空き家対策 ・道路整備 ・公園緑地の充実
- ・公共施設の長寿命化 ・景観 ・歴史まちづくり 等

○協働・広域・行財政関連について

【キーワード】

- ・移住、定住の促進 ・多文化共生 ・外国人の増加 ・多様性 ・国際交流
- ・地域コミュニティ ・地区まちづくり協議会 ・NPO ・官民連携 ・広域行政
- ・行政運営 ・財政 ・ファシリティマネジメント 等